

大門だより

No. 11

(470号)

荒川区立大門小学校

校長 神田 やよい

令和8年 3月 2日

大門小ホームページ

荒川区立大門小学校

検索

《本校の教育目標》 考える子 やさしい子 たくましい子

「創立百年の節目とこれからの学校生活～学区関係者評価をもとに～」

校長 神田 やよい

木々の芽吹きが日ごとに色づき、風にもやわらかな春の気配が感じられるようになりました。いよいよ令和7年度の締めくくりの月、3月を迎えます。

今年度は創立百周年という節目の年にあたり、自分たちの学校の歴史を紐解きながら、地域に根ざしてきた大門小を感じ取り、それらをそれぞれの学年に応じて地域や学校関係者の方に向け、表現してくれました。そして、学習に、行事に、友達との関わりに、一つひとつ真剣に向き合い、確かな成長を遂げてくれました。

12月に実施した学校関係者評価アンケートでも、「学校行事などを通じて、子供たちが望ましい人間関係を築けるよう取り組んでいる」という項目に、児童・保護者ともに8割前後の方から肯定的なご評価をいただきました。日々の教育活動が子供たちの豊かな人間性の育成につながっていることを、大変うれしく思います。また、タブレット端末を活用した情報教育についても、多くの方から高い評価をいただきました。

一方で、「教育相談の充実やいじめ・不登校防止のための取組」については、まだ十分にご家庭に届いていない面もあることが、アンケートから見えてきました。子供一人一人に安心できる居場所があり、何でも話せる環境をつくることは、学校づくりの根幹です。次年度は、相談体制の周知や家庭・地域との連携をさらに深め、子供も保護者も安心して通える学校をめざしてまいります。

子供たちが育つ過程で、友達との小さなぶつかり合いや行き違いは必ずあるものです。それは決してマイナスなことではなく、悩み、話し合い、折り合いをつける経験を通して、子供は確かに成長していきます。そのとき、家庭と学校が同じ方向を向き、子供を真ん中に置いて一緒に考えられる関係でありたいと、いつも思っています。お子様から話を聞いたとき、ともに「どうすればよかったか」を考え、そして学校にも声をかけていただけると、私たちも一緒になって子供を支えることができます。子供の育ちは、ご家庭と学校が手をつないで見守るときに、最も豊かになると信じています。どうか来年度も、共に子供たちの成長を喜び合える一年にしてまいりましょう。

卒業を迎える六年生には、これまでの六年間で積み重ねてきた力と、友と共に歩んだ思い出を胸に、自信をもって新たな世界へ飛び立ってほしいと願っています。進級する子供たちも、次の学年でさらに大きく羽ばたいてくれることを楽しみにしています。

保護者・地域の皆様、本校の教育活動に対する温かいご支援とご協力、誠にありがとうございました。来年度もどうぞよろしく願いいたします。

近日中に、次年度(令和8年度)の大きな行事についてお知らせを行います。

行事等に関しての説明などは、保護者会にて行いますので、ぜひご参会ください。